

## 第5回笠岡市新病院基本構想有識者会議 会議概要

- 1 日時 令和3年8月17日(火) 午後7時2分から午後8時32分
- 2 場所 中央公民館 4階 集会室
- 3 出席者 笠岡市新病院基本構想有識者会議委員 11名  
市長, 政策部長, 総務部長  
笠岡市立市民病院 宮阪病院事業長兼院長外8名(傍聴に市民病院スタッフ27名出席)  
事務局 2名
- 4 議事概要
  - (1) 笠岡市立市民病院の現状について
  - (2) その他  
今後のスケジュール
- 5 委員からの意見
  - (1) 笠岡市立市民病院にとって大切なのは、どれだけ地域貢献をするか。市民病院の在り方にもよるが、地域の先生方とのコネクションの場がどれだけあるのか。地域の医院・クリニックに出かけて行き、いろんな情報収集とか、提携体制、あるいは地域の先生に来てもらうことで、いろんな院内の改革もまた進んでいくのではないか。ニーズをわかってもらう意味でも、笠岡市立市民病院には絶対必要である。
  - (2) 笠岡医師会について、笠岡市立市民病院がどう動いているのか、全然情報が入ってこない。これでは地域に本当に必要な病院として将来足場が弱い。何らかの形で、オブザーバーという形でも、笠岡市の開業のクリニックの先生を支える病院、イコール、地域に必要な病院ということになるので、その方向性で病院の中の改革も進めていくといい。
  - (3) 大前提にそこに医師がいるのかどうかということが非常に重要である。
  - (4) 病院の経営改善をして、黒字化を進めていく、その将来の見通しがあればというのが、今までの議論の中心だった。今年度初めて黒字化できそうという話があったが、将来医者が確保できるのか、将来経営がうまくいくのかということになる。基本構想のこの会議がいつまで続くかわからないが、見通しが付けば決断しなければいけない。
- 6 次回会議  
委員の意見として、追加資料の要望もあるため、次回資料を提示させていただくが、改善は進んでいるとの前向きな意見もあることから、次回以降、基本構想策定を踏まえた資料等を提示し、策定に向けて取り組んでいく。